

ご来場、並びに平素よりのご愛顧御礼申し上げます。

ハイエンドショウ東京 2014・逸品館ブースへのご来場誠にありがとうございます。この小冊子は、会場にお越し頂いた皆さまへ、オーディオ専門店として 25 年間より良い音求めてきた逸品館から、皆さまがより楽しくオーディオとお付き合い頂けるようにとの願いを込めてお作りいたしました。

この冊子には、「私達は、なぜ音楽を聞くのか？」という素朴な疑問と、「オーディオ機器の音質を改善するにはどうすればよいか？」という興味深い課題についての逸品館の考えを掲載しております。難解な部分や読みにくい点が多々あると存じますが、お目通しくだされれば幸いに存じます。

2014 年 10 月 逸品館代表 清原 裕介



- P 1 … ご挨拶
- P 2 … 私達はなぜ音楽を聞くのか？
- P 3 … AIRBOWの挑戦
- P 4 … オーディオの発祥
- P 6 … 音質を改善し、音楽性を向上させるためのオーディオ製品の使いこなし術
- P 7 … ステレオ再生では左右のスピーカーの位置関係の精度が非常に重要
- P 8 … 位置調整よりも簡単なスピーカー音質改善術1
- P 9 … ボードを使った音質改善術
- P 10 … ルーム・アコースティックスを調整する

私達はなぜ音楽を聞くのか？

動物の中で「言葉」を持つのは人間だけであるとされています。では「音楽」を嗜むのは人間だけでしょうか？決してそうではありません。小鳥のさえずり、虫の声。動物の世界には様々な「音楽」が溢れています。もっと人間に近い動物では、ほ乳類の「ザトウクジラ」が雌の気を引くため雄が歌を歌い、雌のお気に召す歌が雄の間で流行することが近年分かってきました。言葉を持たない彼らは、「歌うこと」で感情を交わしあっているのです。

人間はコミュニケーションに「言葉」を使いますが、同じコミュニケーションの手段として「歌」と「言葉」の何が違うのでしょうか？言葉と歌の違いこそ、人間が音楽を聞くヒントがあると私は考えています。

例えば数量や期日のように、はっきりした単位で示されるものは言葉でなければ明確に伝わりません。また科学技術や法律、そういった決められた手順を必要とする情報も言葉でなければ明確に伝わりません。物事を正確に伝えるツールとして、言葉はとても便利です。けれど正確無比な言葉も、話し方次第でニュアンスが変わります。「好き」という言葉を食べ物に向けるのか、愛する人に向けるのか、その状況で私達はアクセントや声色を変えて使います。動物が歌で情感を交わすように、動物が鳴き声で思いを伝え合うように、私達は今も音の変化を感情の変化に対応させて利用します。さらに大切なのは「覚えなければならぬ言葉」と違って、音の変化によるコミュニケーションは「生まれながら」に身につけていることです。言葉よりも以前から使ってきたコミュニケーションの手段である音楽は、私達の心に刻み込まれたコミュニケーションの手段だからこそ、年齢や性別、人種を越えて「平等」に伝わるのです。私達は様々なセレモニーや映画で音楽を使います。それは、言葉よりも音楽が感動をより深く、早く伝えられるからです。音楽は人種や性別、年齢を超え人々を平等に結ぶための大切なコミュニケーションです。言葉では伝わらない思いが心に直接響くからこそ音楽は、これほどまでに深い魅力を持っているのです。

オーディオ・ビジュアル機器は、 単なる家電製品以上の価値を持ちます

美味しい料理を食べたとき、私達は幸せを感じます。良い音でよい音楽を聞いたときにも、私達は幸せを感じます。その充実感は例えようがないほど深く、そしてそれは瞬時に訪れます。音と映像は深い感動と共にあり、私達に生きる喜びと活力を与えます。良いオーディオ機器、映像機器は同じソフトから、より深い感動を引き出します。美味しい料理を食べたとき、すぐく良い音で音楽を奏でってくれる装置と出会ったとき、私達は涙するほど深い感動を覚えます。けれど、支払った対価に釣り合う喜びが得られなかったときの落胆は、それと同じくらい深いものです。逸品館は、時として人の人生を変えるほど大きな力を持つオーディオ・ビジュアル製品を単なる商品とは考えていません。

販売する商品を選びます

逸品館は専門店として商品のご検討段階から、導入後まで一貫して最高のサービスをご提供したいと考えています。中でも逸品館がこだわるのは、お客様の満足感の持続。毎日触れる趣味の製品だからこそ、製品に触れる度に新鮮な喜びと深い感動を感じていただきたいと思うのです。けれどオーディオ市場には溢れんばかりの商品があり、どれを選ぶのが迷います。高額にもかかわらず性能の良くない製品もありますし、逆に低価格にもかかわらず驚くほど素晴らしい製品も見つられます。玉石混淆の製品の中から、的確により良い製品を手にしたと誰もが望んでいます。

逸品館は設立当初より、お客様の視点から製品を厳しくチェックし「販売する商品」を選んでいきます。時として逸品館は、メディアが話題とする新製品を速やかに販売しないことがあります。それは製品の性能や安全性だけでなく、末永く安心してお使いいただくためには、メーカーや輸入代理店のアフターサービスに対する姿勢も大切だと考えているからです。広告費を受け取れば何でも広告するメディアと、販売した後もお客様とお付き合いが続く販売店は違います。

使いこなしのご提案をいたします

オーディオ・ビジュアル機器は使いこなしでその性能が大きく変わります。例えば付属品を別売りのケーブルに変える、設置状況を最適化するなどの方法で音質や音質を飛躍的に改善する事ができます。逸品館は「より良い使いこなし」のご提案にこだわります。それはお客様がご自身の力でより良い音を引き出せたときの喜びが、機器を入手した時と同じくらい大きいと考えるからです。逸品館はそういうお客様の「想い」に全力でお答えしたいと考え、ハイエンドショウ東京2014に出展し、様々な使いこなしのご提案をプレゼンテーションします。

ご購入後のサポートを大切にしています

面倒なことは専門家に任せて時間を有効に使いたいとご希望なら、有償で「セッティング」を承ります。お客様に最良の使いこなしを提案できる研究が続いている逸品館だからこそ、「他店にはマネのできない精緻なセッティング」が可能です。その逸品館の使いこなし研究の成果である「音質」を、是非逸品館ブースでご確認くださいませ。

オリジナルブランド AIRBOW を 発売しています

長年、様々な製品を厳しく選別している中には、「ここをもう少しすればより良くなる」あるいは、「こんな製品があればとても便利だ」と感じる場合があります。そういう気持ちから逸品館は「AIRBOW」というオリジナルブランドを作りました。お気に入りの音楽をもっと感動的な音で聴きたい。その思いは私達も同じです。そして、その夢を叶えたいという思いは、とても強いものです。そんな逸品館の「想い」から生まれた AIRBOW は、聞く人の心に感動を伝えるコンポーネントであり続けることを目標としています。

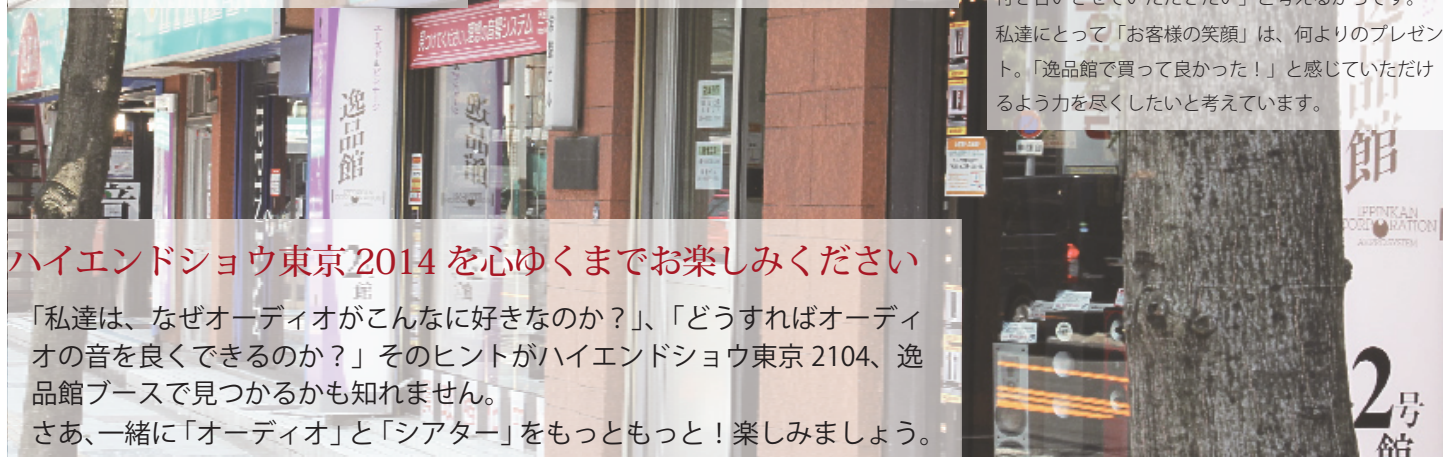
お客様の笑顔が最高のプレゼントです

利益を出すのがビジネスの本質ですが、逸品館は利益追求のため不必要な製品や、不要に高価な製品をお薦めしようとは思いません。それは「お客様と末永くお付き合いさせていただきたい」と考えるからです。私達にとって「お客様の笑顔」は、何よりのプレゼント。「逸品館で買って良かった！」と感じていただけるよう力を尽くしたいと考えています。

ハイエンドショウ東京2014 を心ゆくまでお楽しみください

「私達は、なぜオーディオがこんなに好きなのか？」「どうすればオーディオの音を良くできるのか？」そのヒントがハイエンドショウ東京 2104、逸品館ブースで見つかるかも知れません。

さあ、一緒に「オーディオ」と「シアター」をもっともっと！楽しみましょう。



AIRBOW の挑戦

AIRBOW の挑戦

楽器とスピーカーが発生する「高音」には、大きな違いがあります。ツイーターのような薄い膜を持たないバイオリンやシンバルは、固体の表面が波打つことで高音を発生しています。固体表面が高速で波打つと、固体に接触している空気は急速に圧縮され、場合によっては音速を超える音波（衝撃波）が発生します。

音波が音速を超えると、レーザー光のように距離に応じて減衰しにくくなります。しかし、薄い膜を往復運動させて高音を発生させるスピーカーのツイーターでは、これほど急激な空気の圧縮が行われないため、距離が離れると高音は減衰します。

このような理由から、強い圧力を持つ楽器の高音と圧力の弱いスピーカーの高音は、質感が違って聞こえます。この現象を改善するため、逸品館は楽器と同じ原理で圧力の高い高音を発生する装置を作り、波動ツイーター（CLT Series）という名称で 2000 年頃から発売を続けています（この冬、CLT-5 を発売します）。波動ツイーターを使うことで、スピーカーの音は驚くほど生々しくなり、実在感を増します。この効果は他社のスーパーツイーターでは得られないものです。

昨年はパワーストーンを使った音質改善アクセサリ「Beat Stone」と、オーディオ機器を楽器と同じように

響かせる「Beat Board」を発売しました。既知のオーディオ理論、電気理論の枠を超え、より良い音質とより深い感動を求めて新たな音楽再生への取り組みを続けるのが、逸品館オリジナルブランド AIRBOW の挑戦です。

オーディオ機器の音楽性とは？

逸品館の代表清原は、Web に様々な機器のテストレポートを掲載していますが、この中では「音楽性」と言う言葉がよく使われます。私達が生演奏で聞くのは「楽器」の音、ではオーディオで聞くのは何の音でしょう？音楽は楽器の音で構成されます。

高価な楽器は誰が弾いても「良い音」がしますが、高価な楽器を使えば「良い演奏」ができるわけではありません。大切なのは楽器から出る音ではなく、楽器の音がどのように変化しているかです。だから私達がオーディオで聞きたいのは「音」ではなく「楽器がどのように奏でられているか」なのです。

あなたが聞きたいものが「音の良さ」ならば、高級なオーディオを選ぶべきです。けれどあなたが聞きたいものが「音ではなく音楽」なら、価格よりも装置の音楽性に重点を置くべきです。その判断に迷ったら、あ

なたは楽器そのものの音を楽しみたいのか？演奏家が伝えたい思いを受け取りたいのか？その答えがヒントになると思います。

感動を共有するために

人が音楽を聞く理由。それは、感動の共有です。逸品館はオーディオ機器を「人と人を繋ぐもの」として考えています。先ほど再生音楽を「風景画」に例えましたが、熟練した画家ならチャコールペンシルとスケッチブックだけでも素晴らしい絵を描くことができます。けれど絵心のない人間にどれほど素晴らしい画材を与えても、良い絵は描けません。それと同じようにオーディオ機器の良否は価格や音質で決まるのではなく、より良い音楽を引き出したいと考えるお客様と、それをお手伝いする専門店の情熱で決まると考えています。

[AIRBOW NEW ACCESSORY]



Beat Stone Magma

販売価格 ¥ 12,000 (税込)

パワーストーンはオーディオに効くか？理由は分かりませんが、試すとかなり効果がありました。そこで様々な鉱石の「分子構造」や「形状」と「音質」との関連を分析し、音質と効果を最適化した 3 種類の「鉱石アクセサリ」を製品化しました。それが「Beat Stone」です。

Beat Stone Soul

(写真：中)

販売価格 ¥ 8,500 (税込)

Beat Stone Sky

(写真：右)

販売価格 ¥ 5,500 (税込)

Coming Soon

CLT-5

販売価格 ¥

厚みのあるカーボン振動板をさざ波のように振動させる（波動モーション）ことで、薄い膜を往復運動させる通常のツイーターでは得られない「衝撃波」を生み出す補助ツイーターです。ネットワークを内蔵し、スピーカーと並列に接続するだけでお使いいただけます。